

令和7年2月定例会 県土都市整備委員会（追加提出議案）の概要

日時 令和7年3月21日（金） 開会 午後1時 1分
閉会 午後1時16分

場所 第9委員会室

出席委員 小川直志委員長
深谷顕史副委員長
須賀昭夫委員、尾花瑛仁委員、横川雅也委員、永瀬秀樹委員、岡地優委員、
高橋政雄委員、松坂喜浩委員、中川浩委員

欠席委員 小森克己委員

説明者 [下水道局関係]
北田健夫下水道事業管理者、吉田薫下水道局長、豊野和美下水道管理課長、
水橋正典下水道事業課長

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

議案番号	件名	結 果
第81号	令和6年度埼玉県流域下水道事業会計補正予算 (第3号)	原案可決

2 請願

なし

【付託議案に対する質疑】

須賀委員

- 1 今説明いただいた令和6年度補正予算第3号で、建設改良費が50億円増加して総事業費90億円となったが、この内容というのは、工事費に限定されていると思うが、具体的に工事のどの部分に充当されるのか。
- 2 周辺地域への補償に関しては、また改めて今後協議の中で決めていくということでしょうか。
- 3 恒久的な対策工事の予算はいつ計上される予定なのか伺う。

下水道事業課長

- 1 今回、補正予算であるが、先日議決いただいた補正予算を活用して、一刻も早い救出、それから復旧に向けた工事を進めてきたところであるが、やはりその現場の状況などを踏まえて工事費の増加が必要となったことから、国の予備費も活用して、今回工事費を増額するものとなっており、工事内容としては、破損した下水管から汚水をう回させるための仮排水管の整備であるとか、キャビン救出するための入り口の設置、それから破損した下水管の復旧などが入っており、工事本体もそうだが、工事の実施に必要な仮設であるとか補償、こういったものについても含まれている予算となっている。
- 3 恒久的な対策については、ちょうど昨日、復旧工法検討委員会という有識者の委員会を開催し、そこで、今後の恒久的な対策の方向性について意見を頂いたところである。そういった意見を踏まえて、引き続き恒久的な対策の内容について考え、まとまったら、改めて皆様に説明したいというふうに思っているところであり、現時点でちょっと目途が立っていないという状況となっている。

下水道管理課長

- 2 現在、敷地の利用を制限させていただくなど、工事に伴う損失の補填に関しては、該当する方々と個別に話を進めているところである。それぞれ状況が異なるので、個別に話を伺いながら、工事に伴う損失を丁寧に把握し、対応していきたいと考えている。

尾花委員

既に議決した急施分の40億だと、収入全額を企業債で賄っていたという分も含めて、今回の予算案だと、言わば遡る形で見たときの総額90億円の工事費のうち、2分の1は国庫支出金に措置される形になっているというふうに捉えている。国庫支出金の割合は、下水道事業の場合、処理場を新たに建設する場合は3分の2で、管の場合は2分の1という規定があるので、その規定に準じている形なのかなというふうに思うが、今回、やはり国の予備費による財政支援ということで、通常枠ではない対応という捉え方が基本なのかなと思っている。災害対応での特別な適用ということならば、今後例えば流域の関係市町村に負担が出るなどが発生するのは望ましくないのではないかと考えるが、県としてはどうお考えになるかをお聞かせいただきたい。

下水道管理課長

今回の90億円の補正に、50億円の増額補正の結果、補正予算の建設改良費の財源は、45億円が国庫補助金、残りの45億円が企業債というものになっている。この企業債の

償還に当たっては、元利償還金のうち約70%が地方交付税の基準財政需要額への算入を通じて、地方財政措置が行われることになっている。残りの30%、約13.8億円については、一般論としては、流域下水道事業の維持管理負担金、つまり流域の市町に負担いただくというのが一般論ではあるが、私たちとしては、国にも働き掛けるなどして、どういった形がとれるか、適切に対応していきたいと思っている。

松坂委員

須賀委員の質問に関連するが、補償について該当する方々に個別に話を進めているということであったが、実際私どもは現地を行っているわけではないが、いろいろな営業に関わる方、売上げが完全に止まってしまったという店舗もあるかと思う。そういったところの運転資金のことであったり、営業補償ということもある中で、個別に進めていく中でもう3か月、これから、5月いっぱい管路の方が終了するといっても、なかなかその期間がある中で資金をどうやって回していくのかというのがあるから、その辺に対するそういった影響を受けている方々への支援策というのはどのように考えているのか伺う。

下水道管理課長

2月22日に、周辺住民企業の方を対象にした説明会を開催しており、そこで、国の雇用調整助成金や融資相談の支援事業、県の融資制度を案内している。また、こちらで私どもで開設をしている電話相談の方へそういった相談を頂いた場合にも、今言ったような融資制度などの案内をしているという対応をとっている。こういった皆様方に寄り添う対応に引き続き努めていきたいと思っている。

松坂委員

心配されるのは、そういったいろいろな資金的な問題で、今回のその修繕にかかる中で、会社の企業経営が成り立たなくなるなんていうことがあってはならないので、そういったところをしっかりと考えていただきたいと思うが、重ねての答弁となるが、お願いする。

下水道管理課長

皆様が受けている状況をしっかりとすくい上げて、対応に努めていきたいと思っている。

【付託議案に対する討論】

なし